

資産運用の読み物

経済・投資のあんちよこ



VOL.1

円安だとなぜトヨタの利益はふえるの？

今回の話題

日本を代表する輸出企業、トヨタ自動車の2015年3月期の営業利益が過去最高の2.7兆円におよぶ見通しです。円安の恩恵を大いに受けて、輸出採算が上向いたことがその要因といわれています。でもなぜ、そもそも円安だとトヨタの利益がふえるのでしょうか？

円安・円高で受け取る利益は変わる!?

- 円安だと利益がふえるのは、海外で販売した自動車の利益が大きく影響しています。
- お金の流れを追ってみましょう。例えば、米国で自動車が1台2万ドルで売れたとします。その販売代金は、当然現地の通貨ドルで受け取ります。しかしその後、販売代金は日本円に交換され、日本で売り上げとして計上されます。
- 販売代金を日本円に交換する際、1ドル＝100円だったら、先ほどの自動車は200万円の売り上げとなります。もし、それより円安の1ドル＝120円だったら、売り上げは240万円となり、1ドル＝100円の時より40万円も収益が増えるのです。逆に1ドル＝80円と円高だったら、受け取る日本円は160万円となりますから、売り上げは下がってしまいます。
- トヨタに限らず、輸出産業は円安の方が収益が多くなります。

■自動車の売り上げは、これだけ変わる

【1ドル＝100円の場合】



【1ドル＝120円と、円安になったら…】



⇒40万円分売上が増える

【1ドル＝80円と、円高になったら…】



⇒40万円分売上が減る

Point

海外で販売した商品は、その利益を外貨で受け取ります。
そのため、円安時に日本円に交換すると、より多くの利益が受け取れます。